



災害対策推進・教育センター

VOL.48 2026年9月号

かわら版



News 令和8年熊本地震 災害対策本部を設置しました

7月28日（火）の熊本地震発生後、三重県よりDMATコーディネーションチームの派遣要請があり、災害対策本部を設置するとともに、派遣を決定しました。また翌週8月3日（月）には、DMAT隊員と、DICT隊員の派遣要請があり、DMAT隊員の医師、看護師、業務調整員5名とDICT隊員の医師が派遣され、病院支援や感染症対策支援等を行いました。



DMAT隊員・DICT隊員の出発の様子

DMAT隊出発（8/4）

活動報告会の様子(8/20)

日	時刻	発信元	発信先	内容
7月28日	16:27	熊本地震発生	三重県	7/28 熊本地震発生
7月30日	14:29	三重県DMAT事務局	三重県DMAT事務局	DMATコーディネーションチームの派遣要請
15:14	三重県災害対策本部	三重県災害対策本部	三重県災害対策本部	DMATコーディネーションチームの派遣要請
16:00				7/30 災害対策本部設置
16:20				

活動範囲と被災状況



DMATコーディネーションチームとは？

DMATの派遣調整や医療活動環境・生活環境を整える等、都道府県DMAT調整本部やDMAT活動拠点本部、保健医療福祉調整本部等での本部業務を主に行うチーム。



活動の様子とコメント



- 様々な災害時活動隊の情報が統合されておらず、データ整理を支援した。
- 八代市内のドラッグストアは再開しているが、マンパワー不足で入所者に物資が届いていなかった。
- 家に上水道が通っておらず、避難所から帰れない被災者が多数いた。

DMAT隊員は何をするの？

DMATの先発隊が集めた情報や支援体制を引き継ぎ、現地の被災した病院の機能維持や情報共有のサポートを行う。

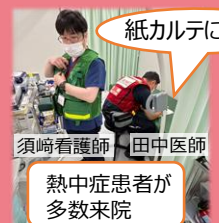
医師、看護師：救急業務支援（夜勤を含む）、病棟業務支援
業務調整員：医療事務支援、看護師業務（尿測、おむつ交換等）の補助



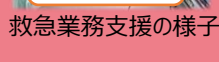
八代北部医療センター

氷川町にある唯一の病院

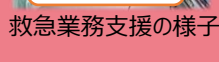
活動の様子



紙カルテに記入



熱中症患者が多数来院



救急業務支援の様子



地震により倒れ破損した床頭台



DMAT隊員による散歩

コメント



寺村看護師 (8月5～9日)

支援先の看護師は「地震の後、子供達が庭に出て私の帰りを待っていた」「自宅の基礎が何か所も壊れて立て直しかも」「地震の後、親が急に物忘れがひどくなって1人では心配」と、私たちの想像を超える過酷な状況の中、病院職員同士が気遣い、協力しあっていました。目の前の患者に必要な医療・ケアを提供するだけでなく「お家が壊れちゃったのよね、つらいね」と優しく寄り添っていました。災害は、病院だけに起こるものではありません。職員も、患者さんも、家族も、地域も、みんなが被災者になります。災害からの復興は壊れたモノを修復することだけでなく人と人とが支え合い、暮らしを取り戻していくことなのだと感じました。私たちも、いざというときに患者さんを支え続けるために、まず私たち自身が、お互いを支えられる職場でありたいと思います。

DICT隊員とは？

DICT (Disaster Infection Control Team)は、感染制御等の実務経験者により編成され、大規模自然災害の発生早期に感染症対策支援の必要性を評価し、被災地の保健所、感染制御チーム (ICT) 等と連携して、避難所等における集団感染の発生や拡大を未然に防ぐための感染症対策支援を目的に活動するチーム。

(DICT活動要領令和8年1月改訂より抜粋)

知っていましたか？ システム停止時のX線撮影・CT・MRIの撮影の運用について
 災害時やサイバー攻撃被害時では、電子カルテ（MINT）のオーダー入力の代替として、専用紙の「システム停止時専用放射線検査依頼書」等を記入して検査を依頼します。

検査依頼方法

放射線検査の依頼に必要な専用紙は3種類あります。

検査依頼に必要な書類

○=必要、×=不要

	①システム停止時専用放射線検査依頼書	②放射線検査オーダー時確認用シート	問診表および同意書
X線	○	×	×
CT・MRI 造影剤なし	○	○	×
CT・MRI 造影剤あり	○	○	○

※①は検査ごとに1枚ずつ作成！



必要な書類を持参して
各検査室（X線、CT・MRI）の受付へ提出



②放射線検査オーダー時確認用シートは、ペースメーカーの有無、アレルギーの有無、腎機能（造影剤使用の可否判断）など、検査を安全に実施するために必要な情報を記載します。

検査結果の受け取り方法

担当医がX線、CT・MRI画像を
各コントローラー室で直接確認する



※以前の画像と比較することができません



Center Message



過去に大きな被害をもたらした台風は、9月に多く発生しています。また、気象庁からは、毎月2～3件ほど線状降水帯の発生事例が報告されており、大きな被害につながった地域もあります。先月13日の千葉県の大雨でも、車が浸水し、亡くなられた方がいると報告されています。周辺地域で「線状降水帯直前予報」が発表されたときは、今後3時間以内に線状降水帯が発生する可能性が高まっている状況です。できるだけ不要な外出は控えましょう。

やむを得ず車を運転する場合も、冠水しやすい道路やアンダーパス（周囲より低くなっている道路）には入らず、無理をせず安全を優先してください。JAFによる車の浸水実験では、セダンは浸水深60cm程度でエンジンが停止し、ミニバンでは浸水深90cm程度で車輪が浮き、120cm程度で完全に水没したとされています。車が浸水すると、エンジンが重いため、車の前方から沈み、前に傾くことがあります。そのような場合は、後部座席側からの脱出が必要になることもあります。また、車が水に浸かると、車の内外で水圧に差が生じ、ドアが開きにくくなることがあります。窓も電気系統のトラブルなどで開かなくなる場合があります。もしドアや窓が開かなくなった場合は、慌てずに状況を確認し、車内外の水位の差が小さくなって脱出しやすくなったタイミングで、落ち着いて車外へ脱出しましょう。

万が一に備えて、運転席から手の届く場所に脱出用ハンマーを用意しておくことも大切です。

9月1日は「防災の日」です。関東大震災が発生した日であり、台風襲来の警戒を高めるための日です。この機会に、大雨や台風のときの行動や、車の中の備えについても見直してみませんか？（センター臨床工学技士 あ）

災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

システム停止時専用放射線検査依頼書運用での注意点



依頼書を作成した後は、確認できるものはありません！

！検査予定の把握ができない

「誰が・いつ何の検査を受けるのか」を確認できるよう、一覧リストを作成します

！検査内容の確認ができない

検査内容と撮像部位、絶食の必要性、同意書の取得の有無等を確認できるものを作成します

！当日の検査予定を一覧表が出力できない

事前に作成した一覧表で受け持ち患者の検査予定を確認する必要があります



各部署・部署間での情報共有に時間を要します

News

紙帳票の診療録1号紙・処置伝票が決定しました

・診療録1号紙は、受診者情報、保険者情報、傷病名などの必要な情報を1枚に集約した院内共通の紙帳票です。

・処置伝票は両面を使用する様式となっており、物品・処置・薬剤等の記載に加え、物品ラベルを貼付できる仕様となっています。これらは、災害やシステム停止時によりMINTが使用できない場合に、診療情報を記録・共有するための帳票として運用されます。



10月2日ANPICによる
安否報告訓練を実施します！
ご協力よろしくお願いします！



放射線部

主任 山尾 寛一 です

放射線検査は災害時にも欠かせない検査です。診療を止めないため、電子カルテが利用できない状況にも対応できるよう、紙伝票の整備と運用を日頃から訓練しておくことが重要です。

Face

